

よえもん

今月のことば

2015年8月

第 28 号

シリーズ
よえもん

りょうち ぐ
良知の学



子日く吾
お十有五に
して字に
志し
三才にして
女十にして
四十にして
て惑わす
五十に
て天命
を
知

六十に
て耳に
て心
て足
を
踏
え
ず
知
所
欲
し
い

「四書大全」を勉強していた藤樹先生は、その教えを
しっかり守って行動しようと思いました。しかし、うまく実行
できず、先生の心の中はゆとりがなく、悩んでいました。
そこで、形より心を学ぶことを大切にしよう。工夫ながら
過ごすようにしました。また、あわせて五經・十三經・
陽明全書の勉強もしました。このようにして、先生の学問や
考え方は、深まっていき

人はだれでも良知という美しい心を持っているので、欲望に
打ち勝って、いつも良知をみがき続けなければならない。
= 致良知 (ちりょうち) 良知に致る 具体的な
ことがらとして、「顔つき・言葉づかい・目つき・聞き方・
思いやり」をおげ、その五事 (貌・言・視・聴・思) を
正すことが大切だ』と考えつきました。

毎号、このコーナーは、中江藤樹の和歌や俳句・
珠玉のことばなどを選定して掲載していますが、
今回は過日実施しました6日間の「了佐てらこや
小学校」で、子どもたちが論語を手本にして
練習した毛筆作品を掲載させていただきました。
作品は、様々な字体で書かれていますが、
3年生から6年生までの子どもたちにより、
合作されたものです。

記念館だより

7/28より開校しておりました6日間の了佐てらこや
小学校を無事終えることができました。
市内の小学3年生から6年生の25人が論語の
素読と毛筆習字を中心に、科学実験で万華鏡の
ものづくりでデコパージュ、とすべての活動に熱心に
取り組んでくれました。

子どもたちの元気な声が響き渡り、活気に満ちた時間を
持つことができました。

これもひとえに保護者の皆様のお力添えのお陰だと感謝しております。
本当にいろいろとありがとうございました。

